

2019年4月9日

株式会社ジーンデザインの味の素バイオフーマサービスへの参画と、 核酸医薬API開発センター開設のお知らせ

味の素株式会社（社長：西井孝明 本社：東京都中央区）の連結子会社である株式会社ジーンデザイン（社長：湯山和彦 本社：大阪府茨木市）は2019年4月1日より、バイオ医療領域で先駆者的でグローバルな開発・製造受諾機関（CDMO）である、味の素バイオフーマサービスへ参画しました。味の素バイオフーマサービスの米国、ベルギー、インドにおける低分子・高分子両方への対応力と、ジーンデザインの高品質なオリゴ核酸のカスタム製造サービスを統合することにより、世界有数の統括的なCDMOとして、より一層お客様のご要望にお応えできる体制を整備して参ります。

更に、4月5日には、オリゴ核酸の試製研究と供給能力の拡大のために、本社敷地内に核酸医薬API開発センター（総床面積 約2,000平米）を開設しました。本センターは三極GMP対応のクラス10万のクリーンエリアと、高度に修飾されたオリゴ核酸を製造するための多目的製造室を有します。また、大型の核酸固相合成装置である、OligoProcessを日本で初めて実装します。これにより、ジーンデザインはμgからkgスケールまで、幅広くお客様のニーズにお応えできるようになります。本センターにはプロセス開発用のラボも併設され、新規オリゴ核酸生産技術開発に関わる、生産活動の支援、および研究開発を行って参ります。

味の素バイオフーマサービスはジーンデザインの参画により、一つに集約されたサプライチェーンを用いて、より一層多種多様なサービスを、バイオ医療領域のグローバルなお客様に一貫性を持ってお届けできるようになります。

先駆的で信頼性のある創造性の高いパートナーとして、世界規模で患者様の健康とよりよい暮らしへ貢献できるよう、努めて参ります。

参考

<味の素バイオフーマサービスについて>

味の素バイオフーマサービスは、ベルギー、米国、日本、およびインドに拠点を持つ統合されたCDMOとして、低分子と高分子両方のAPIと中間体において、包括的な開発の支援や、cGMP対応製造、および無菌充填サービスを実施いたします。味の素バイオフーマサービスは、臨床前の段階から、パイロットプログラム、および商業用に至るまで、多様で革新的なプラットフォームと技術力に対応いたします。これには、コリネックス蛋白発現技術、オリゴ核酸合成、抗体-薬物複合体（ADC）、高活性API（HPAPI）、生体触媒活性、連続フローでの製造などが含まれます。味の素バイオフーマサービスは高品質でお客様のニーズに合った製品をお届けすることに今後一層努めてまいります。

詳細はこちらをご覧ください: www.AjiBio-Pharma.com